

2025年度

「ヨーロッパの歴史・文化講座」

ー 時代を創った人物

人物を創った時代 ー

第4木曜日

13:00～15:00

【12月は休講】



| 日時 | | テーマ | 内容 |
|--------|---|---------------------|--|
| 9月25日 | 木 | バロックの都ローマとベルニーニ | ガリレオに地動説を撤回させた教皇ウルバヌス8世は「ベルニーニはローマのために生まれ、ローマはベルニーニのために生まれた」と言った。ローマの魅力はベルニーニとどう関係したのか |
| 10月23日 | 木 | フランス外交革命とポンパドゥール夫人 | なぜ、フランスはハプスブルク家との長年の対立関係を解消して「外交革命」を行ったのか、それを実現したフランス側の中心人物であるルイ15世の寵姫ポンパドゥール夫人とはどのような人物だったのか、「七年戦争」は、世界地図をどのように塗り替えたのか |
| 11月27日 | 木 | ハプスブルクの都ウィーンとモーツァルト | 6歳のモーツァルトの演奏をハプスブルク家の女帝マリア・テレジアは絶賛したが、9年後、演奏旅行を頻繁に行うモーツァルト一家を「乞食のように世の中を渡り歩いている」「無用な人間」と非難。ウィーン、ハプスブルク家はモーツァルトの人生とどう関わったのか |
| 1月22日 | 木 | イギリスとアヘン戦争 | 1840年に勃発したアヘン戦争は幕末の日本にも多大な影響を及ぼしたが、アヘン戦争はどのようにして起き、どのような結果をもたらしたか、イギリスにおける紅茶文化の普及、定着とアヘンはどう関わっているのか |
| 2月26日 | 木 | 炎の人ゴッホとフランスのジャポニスム | ゴッホがアルルに向かったのは、「日本」にあたる南フランスに行くためだったが、ゴッホにとって「日本」とはどのような存在だったのか、浮世絵の模写を通してゴッホは何を学ぼうとしたのか |
| 3月26日 | 木 | 夏目漱石と20世紀初頭のロンドン | 漱石はロンドンで何を見、何を感じたのか、留学中に締結された日英同盟をどう受け止めたのか、漱石の近代化批判はどのようなもので、留学体験とどう関係しているのか |

コミュニティふらっと
永福

元都立高校教師 伊藤 寿

参加費：1千円(1回)

お申込み3階窓口orお電話にて

TEL:03-3322-7141

